

は し が き

本報告書は当研究所が平成 23 年度の研究プロジェクトの一つとして実施した海洋安全保障研究会による研究成果をまとめたものである。

今日の東アジア地域秩序を不安定化させる多くの要因は、海洋をめぐる問題であるといっても過言ではない。特に近年の中国の南シナ海や東シナ海における行動は、日本を含む地域諸国の懸念を高めている。本研究会は、東アジアにおける安定的な海洋安全保障に向けてアジア諸国の果たすべき役割を検討しつつ、日本が取るべき方策について提言を行うことを目的に、当該分野の専門家を結集して、海洋安全保障問題をめぐるアジアの国際関係の動向と日本の外交につき多角的な分析・検討を行ってきた。

本報告書はその成果として、研究会合での報告・討議、意見交換などで得られた知見をもとに、わが国の当該分野における外交・安全保障政策をより有効なものとするための一助とすべく「調査報告書」としてまとめたものである。

なお、ここに表明されている見解はすべて個人のものであり当研究所の意見を代表するものではない。しかし、本研究成果が日本の外交政策の将来を考える上での意義ある一助となることを心から期待するものである。

最後に、本研究に真摯に取り組まれ、報告書の作成にご尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表したい。

平成 24 年 3 月

財団法人 日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

主査：	阿川 尚之	慶應義塾常任理事
委員：	秋山 信将	一橋大学准教授／日本国際問題研究所客員研究員
	金田 秀昭	岡崎研究所理事／日本国際問題研究所客員研究員
	神保 謙	慶應義塾大学准教授
	高野 紀元	伊藤忠商事株式会社顧問
	竹田 いさみ	獨協大学教授
	西村 弓	東京大学大学院准教授
	山田 吉彦	東海大学教授
委員兼幹事：	浅利 秀樹	日本国際問題研究所副所長兼主任研究員
	福田 保	日本国際問題研究所研究員
担当助手：	鈴木 涼子	日本国際問題研究所研究助手

(敬称略、五十音順)

目 次

序 章	阿川 尚之・浅利 秀樹…………… 1
第 1 章 東アジア情勢と海洋秩序	高野 紀元……………11
第 2 章 中国の覇権的行動が及ぼす地域海洋安全保障への影響	金田 秀昭……………23
第 3 章 ソマリア海賊の現状と対策	竹田 いさみ……………39
第 4 章 PSI と海洋安全保障：緩やかなガバナンスの中の エンフォースメント	秋山 信将……………49
第 5 章 東南アジアにおける海洋安全保障のための キャパシティ・ビルディング	神保 謙……………65
第 6 章 日本を取り巻く海洋紛争	山田 吉彦……………79
第 7 章 海洋安全保障と国際法	西村 弓……………91
第 8 章 政策提言	海洋安全保障研究会……………105